本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	道徳	学年	2年
主題名 (教材名)	きまりをまもる（低 B－12） （光村図書：どうとく 2「黄色いベンチ」）	時	全1時間
本時の 目標	たかしとてつおの心情の変化について話し合うことを通して、約束やきまりはみんなが気持ちよく過ごすためにあるものだと理解し、約束やきまりを守っていこうとする態度を養う。		

	学習活動	ICT 活用
1	○めあてを確認する。 「身の回りにはどんなきまりがありますか。」 どうしてきまりがあるのだろう。	〈ポイント〉 ○考えの交流に ICT を活用する ○自分の考えの電子ポートフォリオ化も可能
2	○教材を読んで、きまりについて考える。 「紙飛行機を飛ばしているとき、二人はどんなことを考えていたでしょう。」 「ベンチに座って服が汚れてしまったとき、女の子とおばあさんはどんな気持ちだったでしょう。」 ◎「はっ」として顔を見合わせた、たかしくんとてつおくんは、どんなことを考えたのでしょう。」	2【学習者用端末】 授業支援ソフトのカードに各自考えを書いて提出するか、ワークシートに各自考えを書いて、カメラ機能を使って撮影したワークシート画像を提出する。 2【大型提示装置】 授業支援ソフトを活用して、クラス全員の考えを並べて表示し、それを拡大提示して出された考えについて全員で話し合う。
3	○自分の生活を振り返る 「みんなも約束を守って気持ちよかった経験はないですか。」	
4	○振り返りをする。	4【学習者用端末】 本時の授業で考えたことや新たに気付いたことなどを上記2【学習者用端末】と同様に提出する。

備　考
○ワークシートに記入した考えの交流は、席が近い児童同士でないと交流ができにくいが、授業支援ソフトを活用することで、自席からクラス全員の考えを確認でき、道徳的価値について多面的・多角的に考えることができる。 ○提出されたデータは、評価にも活用することができる。

作成【 奈良県立教育研究所 】